

平成22年度補正予算

北陸地方整備局関係

参 考 資 料

主要事業一覧

治水関係 主要事業一覧

箇所名	県名	市町村名	事業内容	事業費 (億円)	ページ
阿賀野川	新潟県	新潟市	耐震対策	3.2	1
神通川	富山県	富山市	侵食対策	2.5	2
手取川 (地すべり対策)	石川県	白山市	集水ボーリングによる地下水排除	1.1	3
飯豊山系 (砂防)	山形県	小国町	砂防堰堤	0.7	4
阿賀野川 (地すべり対策)	福島県	西会津町	集水ボーリングによる地下水排除	0.7	5
千曲川	長野県	須坂市 飯山市 千曲市 安曇野市	浸透対策 侵食対策	14.9	6

道路関係 主要事業一覧

箇所名	県名	市町村名	事業内容	事業費 (億円)	ページ
国道49号	新潟県	阿賀町	赤岩トンネルの設備工事	4.9	7
国道49号	新潟県	新潟市	改良工事	0.8	8
国道470号	富山県	水見市	トンネルの設備工事及び脇～中田地区の地盤改良工事	20.8	9
国道470号	石川県	七尾市	トンネルの設備工事及びトンネル舗装工事	6.5	10
国道289号	福島県	只見町	叶津地区の改良工事	3.5	11

港湾・空港関係 主要事業一覧

箇所名	県名	市町村名	事業内容	事業費 (億円)	ページ
新潟港海岸	新潟県	新潟市	離岸堤(潜堤)	1.5	12
伏木富山港	富山県	射水市	臨港道路	1.2	13
福井港海岸	福井県	福井市 坂井市	離岸堤(潜堤)	1.5	14

堤防強化（耐震対策）の推進

にいがた にいがた
新潟県新潟市

事業の概要

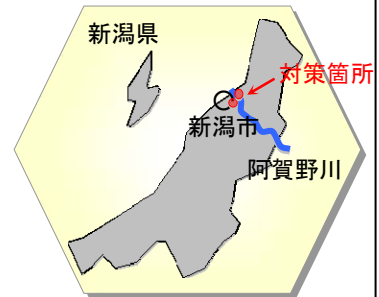
阿賀野川河口部周辺では、堤防基盤が液状化層であり、昭和39年の新潟地震において、液状化が発生しています。大規模な地震が発生した場合、液状化と堤防の崩壊により、ゼロメートル地帯を抱える新潟市に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、対策を実施します。

整備効果

耐震対策の実施することにより、堤防の地震に対する安全性を向上させます。

平成22年度補正予算による事業内容

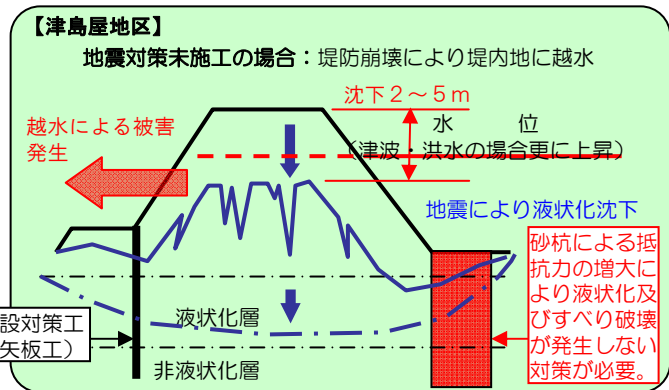
耐震対策を実施します。



S39.新潟地震による被害状況(左岸1k付近)



新潟市下山地先



堤防強化（侵食対策）の推進

とやま とやま
富山県富山市

事業の概要

神通川は、国内屈指の急流河川です。また背後に県都富山市を抱えていることからひとたび氾濫すると甚大な被害を受ける河川です。

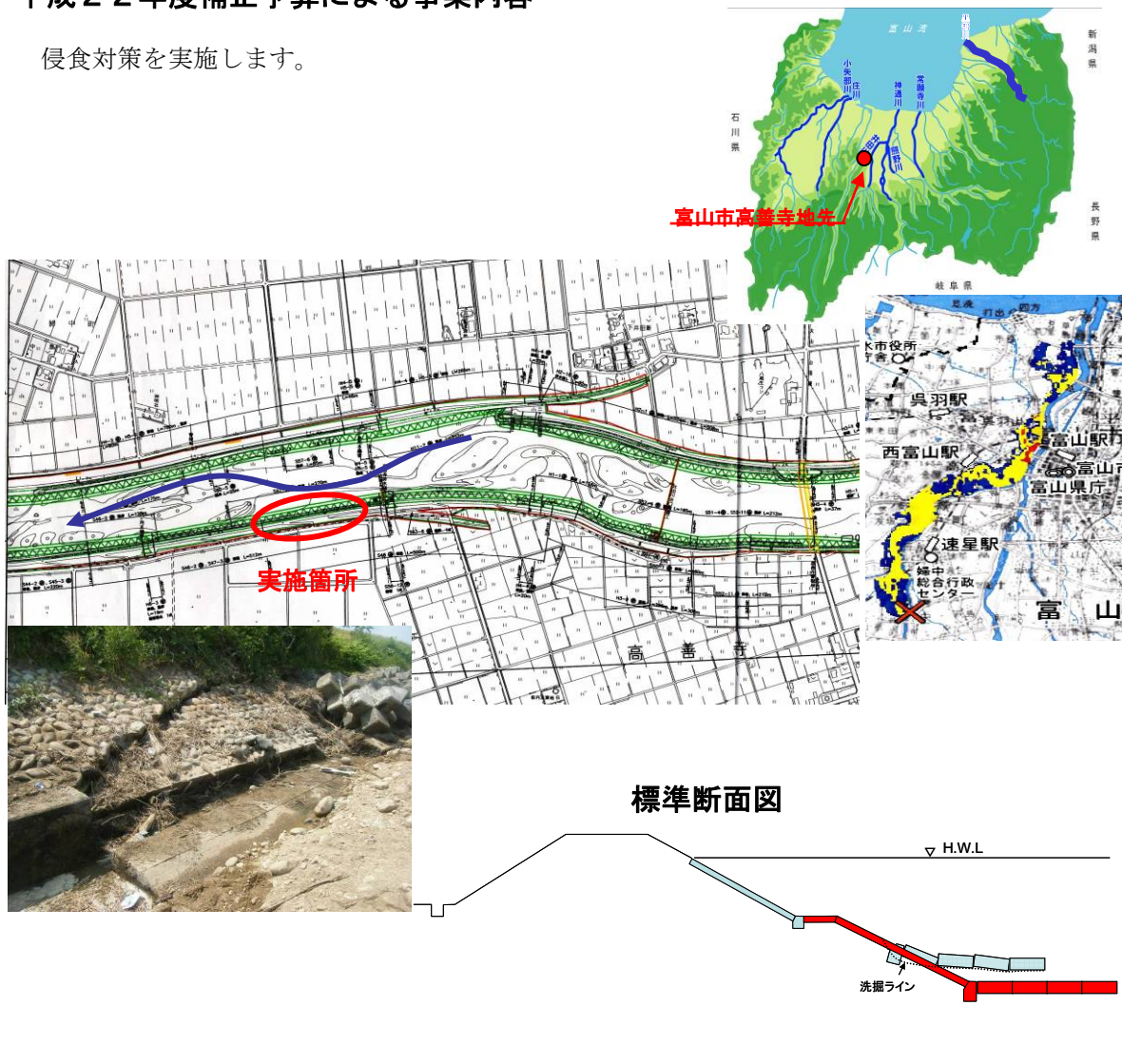
神通川水系井田川の左岸高善寺地区の堤防は、侵食による被害を過去に数多く受けています。このため、堤防強化対策を実施します。

整備効果

侵食対策を実施することにより、堤防の安全性の向上を図ります。

平成22年度補正予算による事業内容

侵食対策を実施します。



じんのすけだに

甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進

いしかわ はくさん
石川県白山市

事業の概要

甚之助谷地すべりは、手取川の源流にある大規模な地すべりです。現在でも年間10cmを超える活発な土塊の移動が続いています。昭和9年7月11日の手取川大水害では、別当谷の地すべりブロック等の滑動により大量の土砂流出が発生し、下流に位置する白峰村(現在の白山市白峰村)等に死者・行方不明者12名という大きな被害をもたらしました。

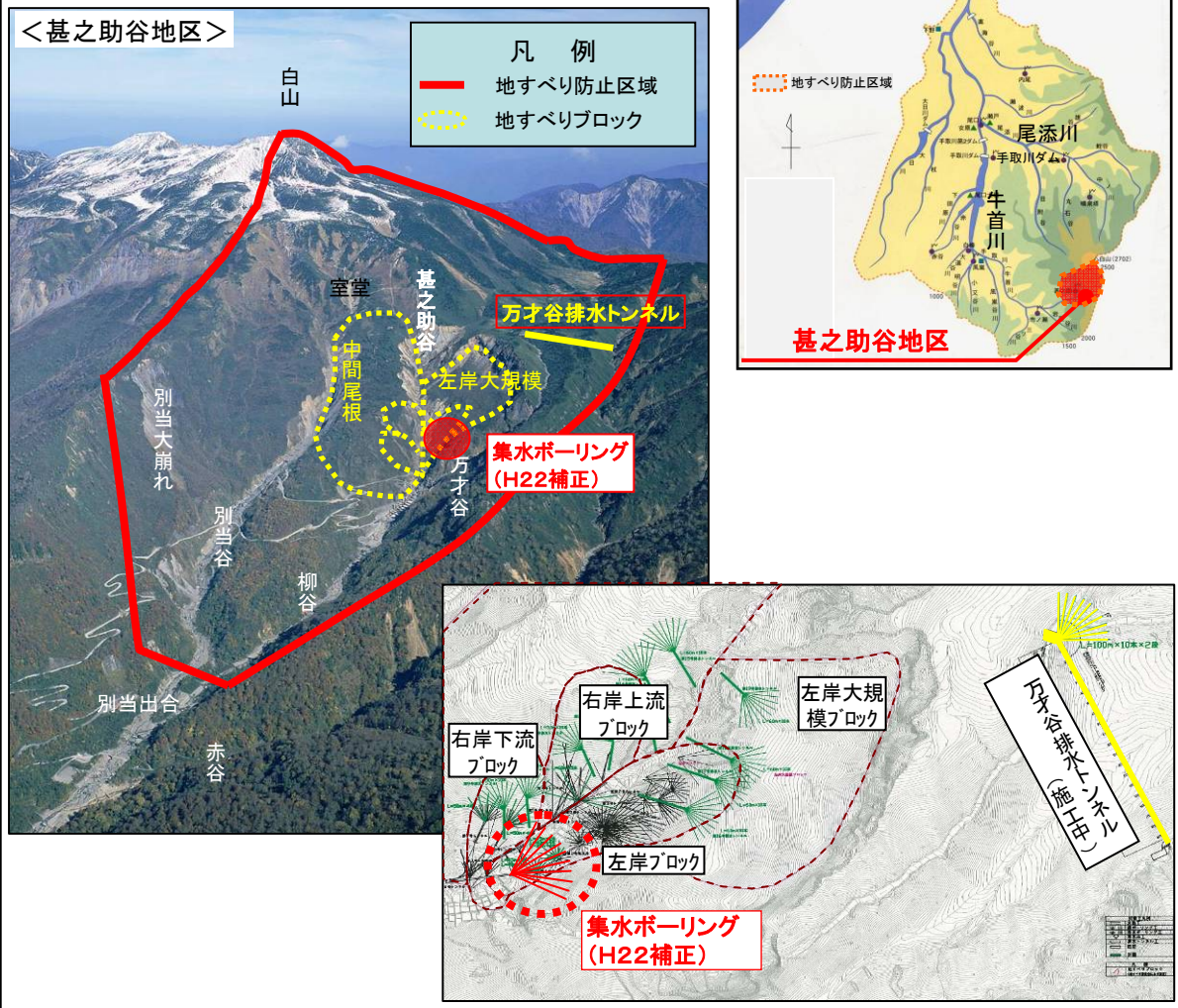
大規模な地すべり発生による大量の土砂流出を起因とした、手取川ダムの治水機能の低下防止及び、沿川集落や観光資源である白山へのアクセス道の保全のため、直轄地すべり対策事業を推進しています。

整備効果

地すべり対策事業の推進により、沿川流域の土砂災害に対する安全度の向上を図ります。

平成22年度補正予算による事業内容

集水ボーリングを実施します。



いいでさんけい みやのだいさぼうえんてい
飯豊山系直轄砂防事業（宮ノ台砂防堰堤）の推進
 やまがた にしおきたま おぐに
山形県西置賜郡小国町

事業の概要

飯豊山系における直轄砂防事業は昭和42年8月に発生した羽越水害（死者・行方不明者90人、家屋被害11,095戸：荒川水系）を契機に、下流沿川地域を再度災害から守るため、直轄砂防事業を実施しています。

整備効果

荒川支川鳥谷沢（小国町宮の台地区）に砂防堰堤を整備し、地域を土砂災害から守ります。

平成22年度補正予算による事業内容

宮ノ台砂防堰堤の整備を推進します。



位置図

流域概要



H16.7出水被害状況（宮の台地区）

滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

福島県 耶麻郡 西会津町

事業の概要

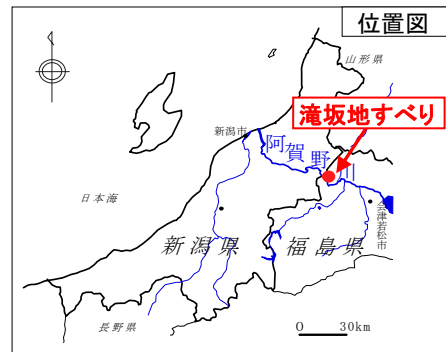
滝坂地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに位置し、150haの面積を有する国内最大級の地すべりです。近年の本格的な動きは、明治21年頃から顕著となり、明治38年と昭和24年には集落の人家が移転する事態が発生するほど大きな動きを見せています。滝坂地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により西会津町、喜多方市が甚大な被害を受ける等、下流沿川地域も含めて広範囲に被害が想定されることから、平成8年度より直轄事業として重点的に地すべり対策を実施しています。

整備効果

地すべり対策事業の推進により、阿賀川の河道閉塞の危険性を低下させ、西会津町、喜多方市、新潟県阿賀町等の土砂災害に対する地域の安全度の向上を図ります。

平成22年度補正予算による事業内容

北部排水トンネルにおいて、集水ボーリングを実施します。



平成22年度に竣工した北部排水トンネル

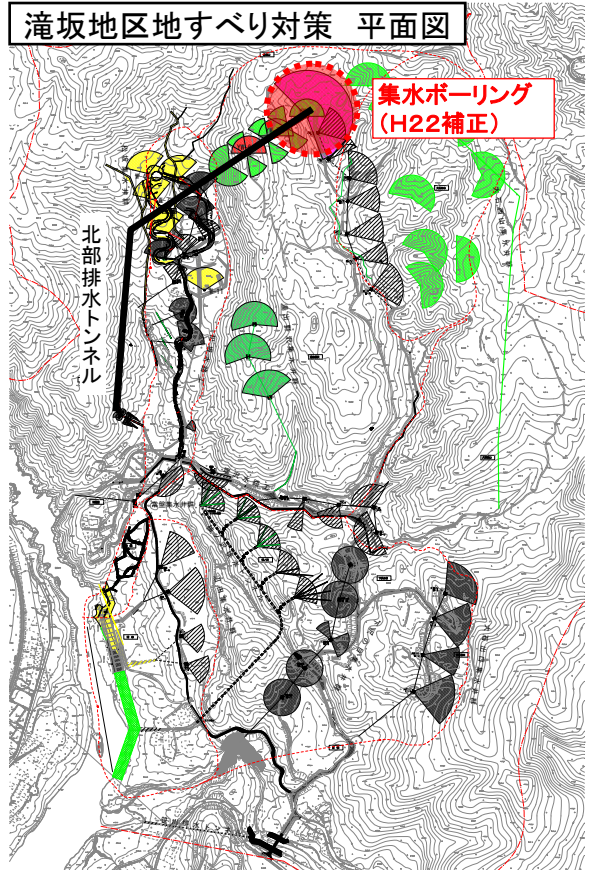


※竣工は、トンネルのみ

集水ボーリング 施工イメージ



滝坂地区地すべり対策 平面図



堤防強化（浸透対策、侵食対策）の推進

ながの すざか いいやま ちくま あずみの
長野県須坂市、飯山市、千曲市、安曇野市

事業の概要

平成18年7月出水で漏水実績のある千曲川において、漏水を要因とした堤防の決壊による甚大な被害を防止するため浸透対策を実施します。

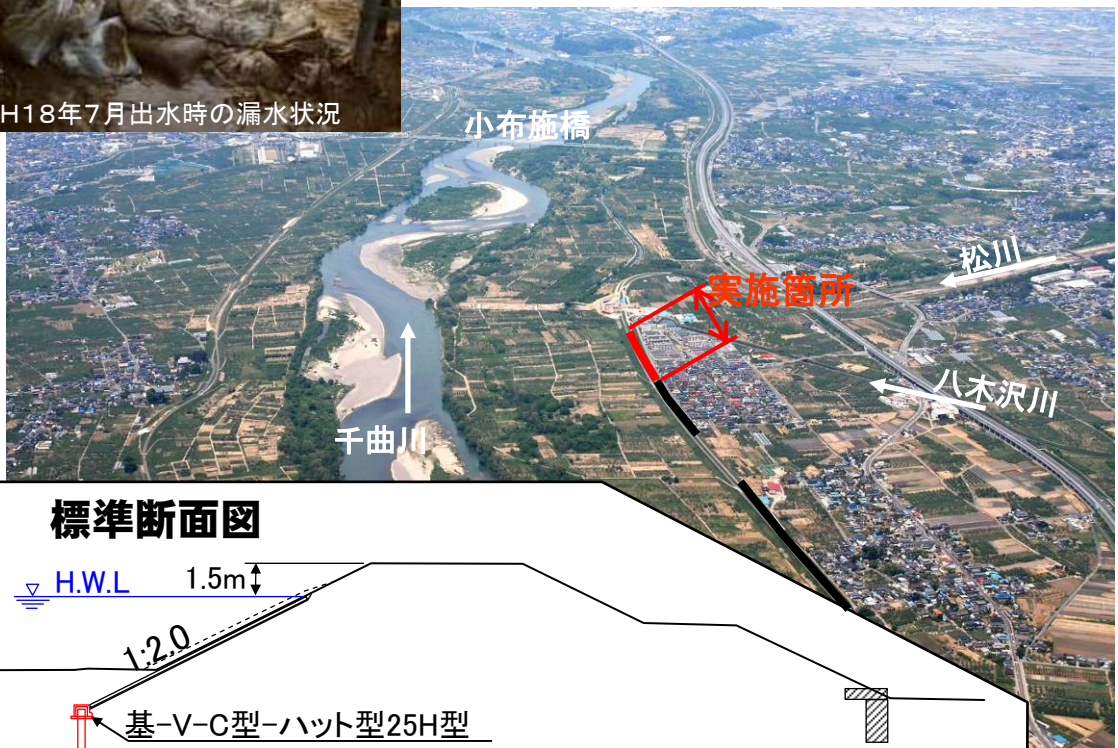
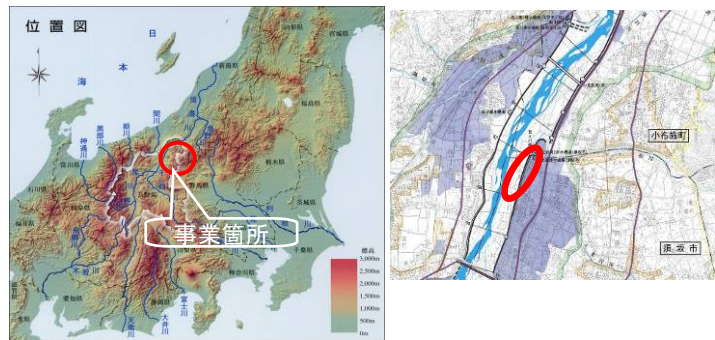
この他、千曲川及び犀川において水衝部における侵食対策を実施します。

整備効果

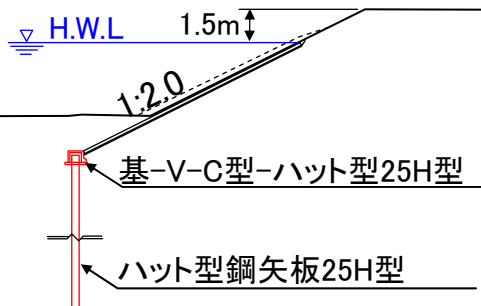
堤防強化（浸透対策、侵食対策）を実施することにより、堤防の安全性の向上を図ります。

平成22年度補正予算による事業内容

浸透対策及び侵食対策を実施します。



標準断面図



国道49号 揚川改良事業の推進

新潟県東蒲原郡阿賀町

事業の概要

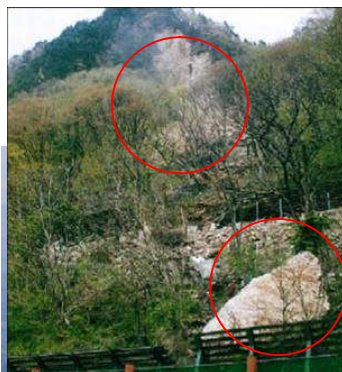
揚川改良は、阿賀町大牧から同町黒岩間の事前通行規制区間（連続雨量150mm）の解消及び本尊岩・谷花地区の岩石崩落等の危険箇所の回避を目的とした、新潟県東蒲原郡阿賀町津川から同町黒岩に至る延長約7.5kmの道路です。

整備効果

事前通行規制区間（連続雨量150mm）及び岩石崩落危険箇所の解消を行うとともに、線形不良、幅員狭小箇所を回避することにより、安全で円滑な交通が確保されます。

平成22年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、赤岩トンネルの設備工を推進し、事業を促進することで、平成24年度の供用を確実にし、早期に防災危険箇所を回避するバイパスを整備することにより、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの形成を図ります。



平成7年の落石状況(230t)
本尊岩・谷花地区



国道49号 うばがやま 姥ヶ山事故対策事業の推進 にいがた にいがた 新潟県新潟市

事業の概要

当該箇所は、国道49号の姥ヶ山ICで、慢性的な交通渋滞が発生し、オフランプの渋滞が無理な車線変更・割り込みを誘発し交通事故が多発しています。

本事業は、上りオフランプを立体化するものです。

整備効果

上りオフランプを立体化することにより、市道へ接続する交差点位置を変更し、滞留長を確保することで、本線とランプ分流部周辺での事故を削減し、安全性の向上を図ります。

平成22年度補正予算の事業内容

改良工事（盛土）に着手することにより、早期供用を目指します。

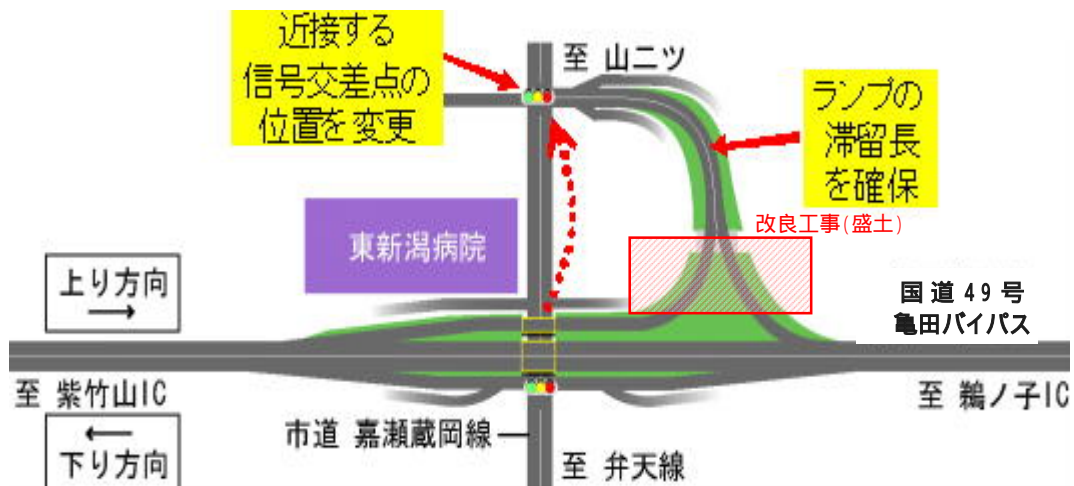
位置図



現況写真



平面図



国道470号 なな お ひ み 七尾氷見道路事業の推進 とやま ひ み 富山県氷見市

事業の概要

七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、富山県内では、石川県境から氷見市大野間の延長約14.5kmで事業を推進しています。

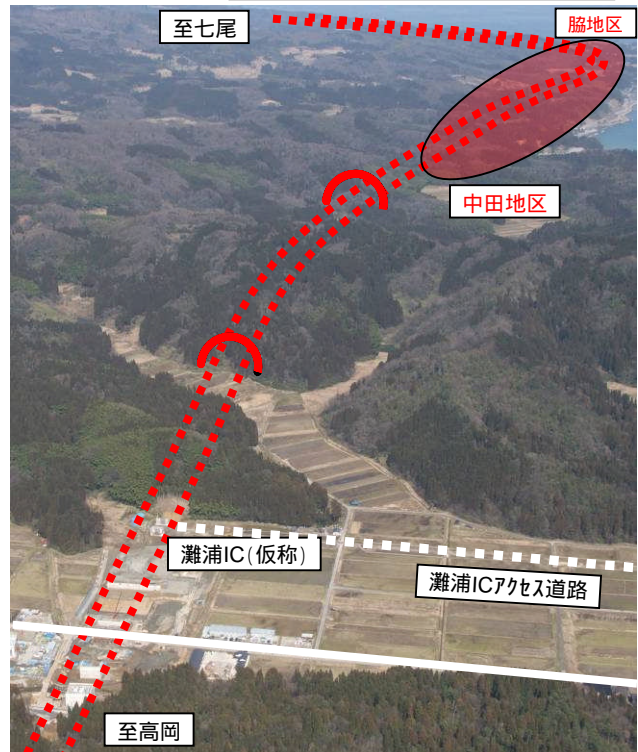
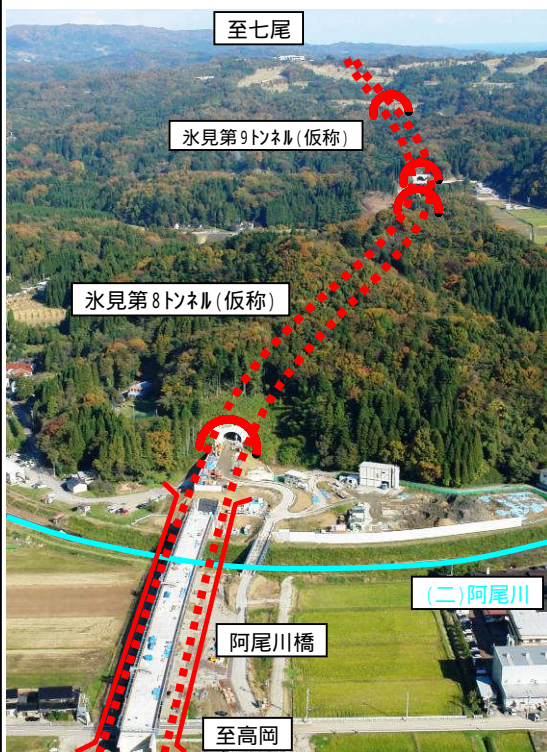
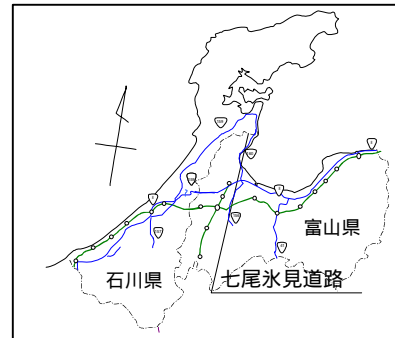
整備効果

国道160号は富山県高岡市と石川県七尾市を結ぶ幹線道路として、物資の輸送等、能登半島地域の交流に大きな役割を担うとともに、通勤・通学等、生活に欠くことのできない重要な道路です。しかし、雨量規制や土砂崩れによる災害等の通行止めにより、その役割を十分に発揮できない状況となっています。

七尾氷見道路は、雨量規制や災害、越波による通行止め等の課題がある国道160号の代替機能を確保するとともに、安全で快適な信頼性の高いネットワークを形成することにより、地域間交流の促進と地域の活性化が図られます。(七尾市から氷見市までの所要時間が約30分短縮される見込みです。)

平成22年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、トンネルの設備工を推進し、事業を促進することで、平成23年度の(仮称)灘浦IC～氷見北IC間の供用を確実にするとともに、脇～中田地区の地盤改良工を推進し、事業を促進することで、早期に国土ミッシングリンクの解消を図ります。



国道470号 ななおひみ 七尾氷見道路事業の推進 いしかわ なな 石川県七尾市

事業の概要

七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県内では、七尾市八幡から富山県境間の延長約13.6kmで事業を推進しています。

整備効果

国道160号は富山県高岡市と石川県七尾市を結ぶ幹線道路として、物資の輸送等、能登半島地域の交流に大きな役割を担うとともに、通勤・通学等、生活に欠くことのできない重要な道路です。しかし、雨量規制や土砂崩れによる災害等の通行止めにより、その役割を十分に発揮できない状況となっています。

七尾氷見道路は、雨量規制や災害、越波による通行止め等の課題がある国道160号の代替機能を確保するとともに、安全で快適な信頼性の高いネットワークを形成することにより、地域間交流の促進と地域の活性化が図られます。（七尾市から氷見市までの所要時間が約30分短縮される見込みです。）

平成22年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、トンネルの設備工及び舗装工を推進し、事業を促進することで、平成24年度の(仮称)七尾東IC～(仮称)大泊IC間の供用を確実にし、早期に国土ミッシングリンクの解消を図ります。



七尾トンネル坑内写真



国道289号 はちじゅうりごえ 八十里越事業の推進 ふくしま みなみあいづ ただみまち 福島県南会津郡只見町

事業の概要

八十里越は、国道289号の新潟・福島県境の通行不能区間の解消を目的とした延長約11.8kmの事業であり、福島県内では南会津郡只見町叶津地区の延長約3.5kmで事業を推進しています。

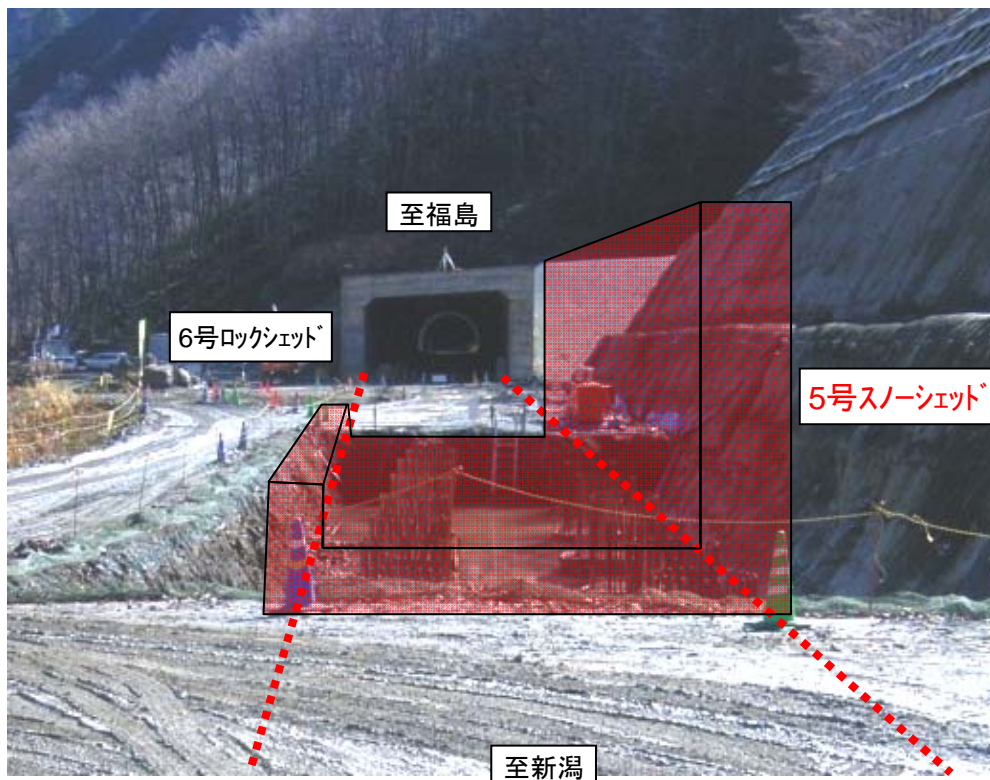
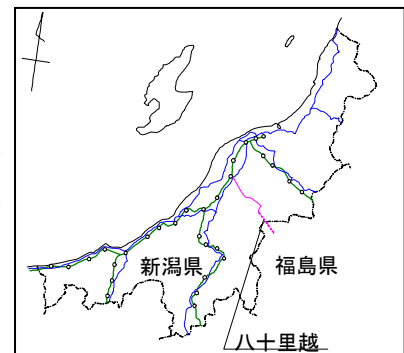
整備効果

八十里越が開通することにより、以下の効果が期待されます。

- ・通行不能区間が解消され、多様な観光ルートの創出、救急医療活動の支援が期待されます。
- ・新潟県三条市から福島県只見町間の所要時間が121分→73分と大幅に短縮されます。

平成22年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、只見町叶津地区の改良工（スノーシールド下部工）を推進し、事業を促進することで、早期に通行不能区間を解消し、地域連携に資する幹線道路ネットワークの形成を図ります。



にいがた
新潟港海岸西海岸地区
海岸保全施設整備事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

事業の概要

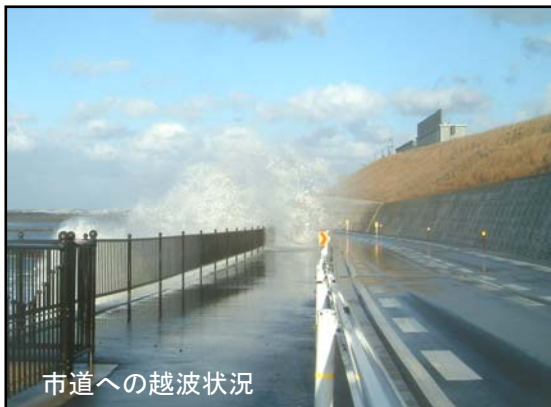
新潟港海岸西海岸地区は、日本海側特有の冬期風浪等の影響を受ける日本有数の侵食海岸であり、離岸堤と護岸による侵食対策工事が行われてきました。しかし、これらの施設の機能維持には半永久的な補強対策が必要となること及び老朽化による施設の倒壊や越波被害の危険性が高いことから、恒久的な対策として海岸地形の安定と広い静穏水域を創出し、防護に加えて景観・親水空間にも配慮した面的防護工法による海岸整備を推進しています。

整備効果

面的防護工法により失われた砂浜の復元と背後地域の安全を確保します。

平成22年度補正予算の事業内容

離岸堤（潜堤）の整備を推進します。



ふしきとやま
伏木富山港新湊地区
臨港道路整備事業の推進
とやま いみず
富山県射水市

事業の概要

伏木富山港（新湊地区）は、平成14年4月に国際物流ターミナルが供用されるなど、環日本海物流の拠点として重要な役割を担っています。臨港道路（富山新港東西線）は、広域幹線道路と連結することによって、港湾関連貨物の物流の円滑化および効率化を図るとともに、港湾利用者の利便性を向上させることを目的としています。

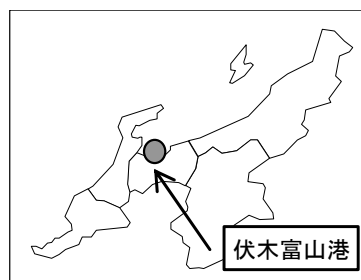
整備効果

港湾関連交通の円滑化を実施し、物流の効率化により、更なる国際競争力の強化を図ります。
また、年間約80万人にも及ぶ海王丸パークの来訪者および射水市東西の地域住民の通行の円滑化、交流の活性化が図られます。

平成22年度補正予算の事業内容

臨港道路の整備を推進します。

位置図



臨港道路（富山新港東西線）イメージパース



ふくい
福井港海岸福井地区
海岸保全施設整備事業の推進
ふくい ふくい さかい
福井県福井市・坂井市

事業の概要

福井港海岸では、既存護岸前面で侵食が生じており、越波による被災及び護岸背後の陥没被災が続いています。あわせて、護岸背後地の地盤は、地震発生時には液状化が予想され現状施設は危険な状態となっています。このため、海岸護岸が倒壊するような事態が発生した場合は、背後の重要施設のみならず、周辺海域・海岸を含む広範囲に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、国民の生命・財産を守り国土保全を図ることを目的として、侵食対策・液状化対策を推進しています。

整備効果

海岸保全施設背後地への越波被害を防止するとともに、液状化対策により護岸の機能を確保します。

平成22年度補正予算の事業内容

離岸堤（潜堤）の整備を推進します。

